

# The DIY SQUARE mag

VOL.1

CAINZ CARD POINT

50pt  
present!!!



アンケートでポイントプレゼント!!

Special  
Feature:

# About DIYer Life!

特集 DIYerのつくりかた。feat. AYA SATAKE [FREELANCE PR]

➡ CAINZ CARD POINT 50pt Present !

アンケート回答でカインズカードポイント50ポイント進呈!

アンケート締切: 4月30日

※ポイントは締切の翌月中旬頃に付与します。号ごとに、おひとり様1回までご参加いただけます。

# HIKERS CAFE

ABOUT DIYER LIFE!  
01



## AYA SATAKE

圧倒的な自然の美しさに魅了されポジティブな気持ちに。

「頂上に行くまでは辛いけど、その後のご褒美の景色にぐっとやられてしまって。下山する頃には、次の登山計画を立ててしまっているんですね。山を登るだけで地球の圧倒的な美しさに感動してしまう」

セレクトショップでPRを担当していた佐竹彩さん。現在はフリーランスとして活躍していますが、当時は登山という趣味が心地よいオンとオフの時間をつくってくれたそう。平日は時間に制約される日々。土日は自宅で過ごすこともできるけど、早朝から起きて遠出をする。その非日常感は心をリフレッシュさせてくれる大切な時間。また新しい気持ちで次の週を迎えさせてくれる登山のすっきり感になったと言います。

「自然の偉大さに自分の小さな悩みがどうでもよくなって。山にはポジティブになれる力があるのかなと思います。同じ山でも訪れる季節や天気によって表情は異なっていて。それも面白いところです。私は宇宙にも興味があるんですが、山はそれに少し似ています。未



知の世界に冒険に行くみたいなワクワクがあるんですね。登山で使うザックには宇宙モチーフのワッペンを貼っています。人と違うモノを持ちたいという気持ちがあるので、道具もカスタマイズ。登山は軽量化するのが普通だけど、美味しいコーヒーだけは飲みたいから道具も必須。山の頂上で飲むコーヒーは格別なんですよ」

山にはたくさんの登山ルートがあって、それを自分好みにカスタマイズする時間も楽しい。気になる山小屋の人気メニューを目指したり、地元で新鮮な野菜を手にしながらか、頂上でみんなでシェアする鍋も美味しい。山の麓には温泉があるから下山後には入浴。登山にはたっぷりのご褒美がある。

「登山を始めてから、世界の山にも興味が出始めて。いつかニュージーランドに行きたいと思っているんです。もともと御神木とかが好きで、大学生の時に母と一緒に屋久島に行ったのが初めての登山だったのですが、こんなにハマるとは思ってませんでした。登山って少しハードルが高いイメージがあったんですが、やってみると面白くて」

初めてのことをやってみる。“好き”を大切にしてみる。そんなことも素敵なDIY。彼女の笑顔がそんなことを伝えているよう。



### CAINZ'S COMMENT

機能性の高さが  
魅力のアウトドアギア。  
可能性は無限大です。

「優れた機能性を追求したアウトドアギアは、毎日を便利で楽しくしてくれる道具。例えばYouTubeでもバズった『ツールスタンドとしても使えるランタンスタンド』は、2本組みなので、1本ずつ左右に設置してロープや丸棒を通せば、その名の通りツールスタンドにも、『持ち運びに便利な2WAY焚火台コンロ』は、調

理だけではなくキャンプ時の焚き火台としても使えます。おうち時間も増えたので、自宅でのBBQにも重宝すると思います。難燃加工を施した『あったかブランケット』は焚き火の火の粉が飛んでも燃えにくいのが特徴。シンプルなカラーとデザインなので日常の防寒具としても活躍しますよ」

### Commented by



坂井隆  
(カーアウトドア  
サイクル所属)

アウトドアシーンでも日常でも使える便利ギアが好み。多くの人にバズった人気商品のチェックも欠かせない。



**Profile** 佐竹彩

1989年生まれ。ビームスでウィメンズレーベルのPRを担当し、現在はフリーランスのPRとして活動。趣味は登山と着物。© @ayasatake

## SPECIAL FEATURE:

# How To BE A DIYER?

DIYの先に待っているのは、  
スペシャルな自分自身。

「Do It Yourself」という言葉のルーツをたどっていくと、やがて市民運動やパンクカルチャーの存在が見えてきます。知恵をしばり、工夫をこらして、大切なものを直したり、自分を表現する“何か”をつくること。大きなものにただ身をまかせるのではなく、自分の足で立ち、自分の頭で考え、手を動かしてきた人たちがいたこと。「DIY」というスローガンは、そんな歴史を教えてくれる存在でもあるのです。私たちがDIYに挑戦する時、そこに待っているのは選択の連続。でも、“誰かが決めた正しい答え”のない世界には、好きな道を歩いて、自分を表現できる喜びがあります。たとえ間違えたり、失敗しても、経験は自分のなかに確実に積み重なって、いつか必ず役に立つ。それは暮らしを楽しく、豊かにするためのトレーニングみたいなものかもしれません。どんなに小さなことでも、自分の手でやりたいことがあるなら、迷わずやってみよう。その先には、たくさんの経験を身につけた“スペシャルな自分自身”が待っていてくれるから。

DIY—the path to a special new you.

The acronym DIY (Do It Yourself) has its roots in punk culture and grassroots campaigns. The idea is to harness collective wisdom and ingenuity to repair existing things or create new things that let you express your true identity. Rather than entrusting yourself to something larger, you stand on your own two feet and make use of your intellect and your hands. The DIY slogan tells us something of this history. When we take on a DIY challenge, we are faced with a series of choices. But in a world where there are no right answers imposed by others, we can choose our own path, one that brings joy and a sense of self. Even the odd mistake or failure is an experience that we store within, knowing that one day it is sure to be of use. Perhaps this is training to help you live more enjoyable and higher quality life. Where your passion and interest are there, no matter how insignificant it may seem, it's important to take the plunge and have a go. Because experiences are what make you special.



Some stories for "DIYer" interviews  
this Tabloid magazine by Cainz.  
2022-Jan.

Text: Mayu Sakazaki

**The DIY  
SQUARE mag**

発行元:株式会社カインズ The DIY SQUARE mag編集室  
住所:〒367-0030 埼玉県本庄市早稲田の杜1-2-1  
TEL:0120-87-7111



facebook



Instagram



twitter



CAINZ  
DIY Square

くらしに、ららら。  
**CAINZ**  
http://www.cainz.com